

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

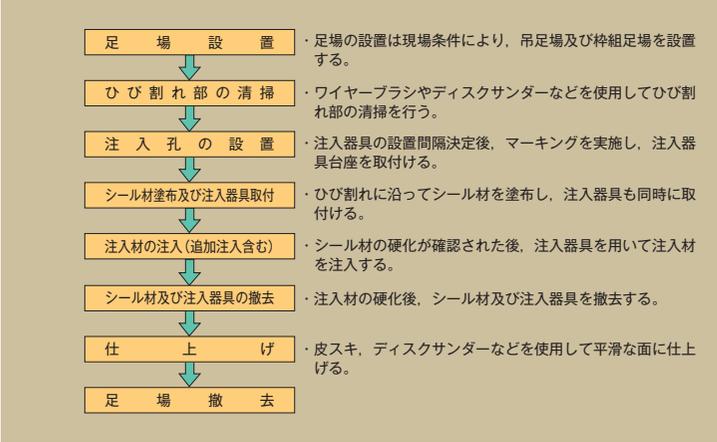
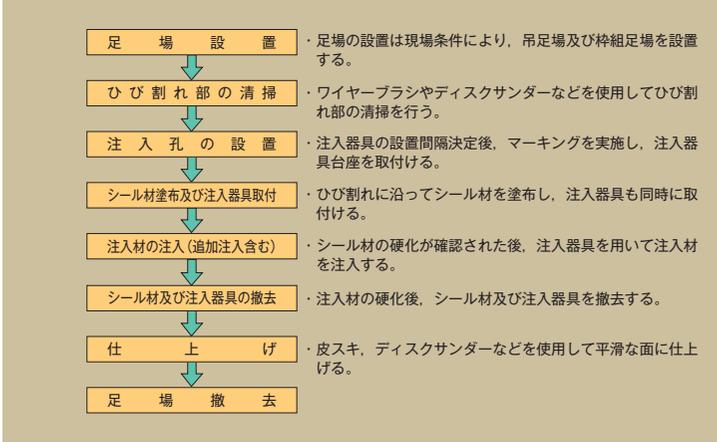
(2021年8月)

ページ	項目	改定前	改定後	備考(該当ページ)
12	②主桁連結工 積算基準対応表	IV-3-㉔ 3-8 足場工及び防護工	- (記載なし)	国土交通省土木工事標準積算基準書(2021年度版)
12	②主桁連結工 積算基準対応表	IV-3-㉔ 3-2 芯出し素地調整	- (記載なし)	国土交通省土木工事標準積算基準書(2021年度版)
12	②主桁連結工 積算基準対応表	IV-3-㉔ 3-2 芯出し素地調整	- (記載なし)	国土交通省土木工事標準積算基準書(2021年度版)
12	②主桁連結工 積算基準対応表	表4-11-1・2 取替工歩掛 表4-11-3 仕上工歩掛	表4-11-1・2・3 取替工歩掛 表4-11-4 仕上工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-105~4-107ページ
184	⑤ひび割れ補修工(低圧注入工法) 積算基準対応表	4.25 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	4.26 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-171ページ
187	⑥ひび割れ補修工(充てん工法) 積算基準対応表	4.24 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)	4.25 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-168ページ
198	⑧剥落防止工(塗膜系) 積算基準対応表	4.23.4, 4.24.4, 4.25.4 単価表	4.24.4, 4.25.4, 4.26.4 単価表	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-166, 4-170, 4-173ページ
209	⑩表面被覆工 積算基準対応表	4.26 橋梁補修工 表面被覆工 (塗装工法)	4.27 橋梁補修工(表面被覆工 (塗装工法))	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-174ページ
218	⑫断面修復工(左官工法) 積算基準対応表	4.23 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	4.24 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-164ページ
243	⑰グラウト再注入工 積算基準対応表	4.23 構造物補修工 断面修復工(左官工法)	4.24 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-164ページ
247	⑱外ケーブル方式による補強工 積算基準対応表	表4-18-14 調査計測工	表4-18-14 近接調査計測工	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-133ページ
290	⑤床版取替工(プレキャストPC床版) 積算基準対応表	表2-8-26 主桁上フランジシール工歩掛 表2-8-28 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-29 プレキャストPC床版調整工歩掛 表2-8-30 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-32 鉄筋工歩掛 表2-8-34 小口型枠工歩掛 表2-8-39 無収縮モルタル工歩掛 表2-8-35 コンクリート工歩掛 表2-8-38 無収縮モルタル工歩掛	表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛 表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛 表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛 表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛 表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 2-222,2-223,2-224,2-225ページ
331	①伸縮継手装置取替工 積算基準対応表	表4-11-1, 2 取替工歩掛 表4-11-3 仕上工歩掛	表4-11-1・2・3 取替工歩掛 表4-11-4 仕上工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-105~4-107ページ
335	②橋梁地覆補修工 積算基準対応表	表2-8-17, 18 橋梁用高欄	表2-8-23, 24 橋梁用高欄	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 2-217,2-218ページ
367	②-4高力ボルト取替工	(注)3. 編成人員での()内は、高所作業車(地盤上10m以上)の場合とする。	(注)3. 編成人員での()内は、高所作業車を用いる場合とする。使用する高所作業車は賃料を別途計上する。	橋梁架設工事の積算(令和3年度版) 4-41ページ
441	②-1断面修復工(左官工法)	(鉄筋ケレン・防錆処理を含む) (鉄筋ケレン・防錆処理を含まない) 左官(プライマー・仕上げ含む)	(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 左官(プライマー含む)、仕上げ	国土交通省土木工事標準積算基準書(2021年度版) II-2-㉔-8
443	⑳-1コンクリート削孔工(電動ハンマドリル)	電動ハンマドリル40mm K2 代表機労材規格 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ40mm	電動ハンマドリル K2 代表機労材規格 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ38~40mm	国土交通省土木工事標準積算基準書(2021年度版) II-2-㉔-2

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2021年8月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																				
12	第1章② 主桁連結工	<p style="text-align: center;">12 第1章 鋼 橋</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>IV-3-① 3-8 足場工及び防護工</td> <td>表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>IV-3-② 3-2 芯出し素地調整</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">仮支点材・補強部材の取付</td> <td>設置箇所の素地調整</td> <td>IV-3-② 3-2 芯出し素地調整 表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td>部材荷卸し～横取り～調整</td> <td>—</td> <td>⑧-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td>部材の取付</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ボルト孔明</td> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ボルト締付</td> <td>—</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—</td> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> </tr> <tr> <td>支 承 取 替</td> <td>IV-3-② ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)</td> <td>表4-3-3・4 支承取替(鋼橋) 表4-3-12 支承取替工歩掛</td> <td>⑩-1 鋼橋・鋼製支承(ゴム支承)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">既設桁の切断・孔明</td> <td>桁切断・仕上</td> <td>—</td> <td>表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設部障害物撤去</td> <td>IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛</td> <td>表4-13-3 既設部材撤去歩掛</td> </tr> <tr> <td>部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し</td> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>鋼桁孔明</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">連結部材の取付</td> <td>部材荷卸し～部材の取付</td> <td>—</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ボルト締付</td> <td>—</td> <td>表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛</td> </tr> <tr> <td>撤去部材の設置</td> <td>—</td> <td>⑦-6 主桁連結部材取付工</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置切断撤去</td> <td>IV-7-⑤ 表5.2・5.3 取替工歩掛</td> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)</td> <td>表5.4 仕上工歩掛</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>舗装復旧(補強鉄筋～区画線)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—</td> <td>表4-11-1・2 取替工歩掛 表4-11-3 仕上工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	IV-3-① 3-8 足場工及び防護工	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工	芯出し調整	IV-3-② 3-2 芯出し素地調整	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	仮支点材・補強部材の取付	設置箇所の素地調整	IV-3-② 3-2 芯出し素地調整 表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	部材荷卸し～横取り～調整	—	⑧-2 部材取付部塗膜研削工	部材の取付	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	ボルト孔明	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	ボルト締付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	現場溶接	—	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	支 承 取 替	IV-3-② ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋) 表4-3-12 支承取替工歩掛	⑩-1 鋼橋・鋼製支承(ゴム支承)	既設桁の切断・孔明	桁切断・仕上	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛	既設部障害物撤去	IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛	表4-13-3 既設部材撤去歩掛	部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	鋼桁孔明	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	連結部材の取付	部材荷卸し～部材の取付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	ボルト締付	—	表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛	撤去部材の設置	—	⑦-6 主桁連結部材取付工	伸縮装置切断撤去	IV-7-⑤ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	ピンテール仕上げ	—	表4-11-1・2 取替工歩掛 表4-11-3 仕上工歩掛	—	現場塗装	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 補修工事高力ボルト本締工			表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工	<p style="text-align: center;">12 第1章 鋼 橋</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">仮支点材・補強部材の取付</td> <td>設置箇所の素地調整</td> <td>—</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> </tr> <tr> <td>部材荷卸し～横取り～調整</td> <td>—</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td>部材の取付</td> <td>—</td> <td>⑧-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td>ボルト孔明</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ボルト締付</td> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> </tr> <tr> <td>支 承 取 替</td> <td>IV-3-② ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)</td> <td>表4-3-3・4 支承取替(鋼橋) 表4-3-12 支承取替工歩掛</td> <td>⑩-1 鋼橋・鋼製支承(ゴム支承)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">既設桁の切断・孔明</td> <td>桁切断・仕上</td> <td>—</td> <td>表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設部障害物撤去</td> <td>IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛</td> <td>表4-13-3 既設部材撤去歩掛</td> </tr> <tr> <td>部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し</td> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>鋼桁孔明</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">連結部材の取付</td> <td>部材荷卸し～部材の取付</td> <td>—</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ボルト締付</td> <td>—</td> <td>表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛</td> </tr> <tr> <td>撤去部材の設置</td> <td>—</td> <td>⑦-6 主桁連結部材取付工</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置切断撤去</td> <td>IV-7-⑤ 表5.2・5.3 取替工歩掛</td> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)</td> <td>表5.4 仕上工歩掛</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>舗装復旧(補強鉄筋～区画線)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—</td> <td>表4-11-1・2・3 取替工歩掛 表4-11-4 仕上工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工	芯出し調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	仮支点材・補強部材の取付	設置箇所の素地調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	部材荷卸し～横取り～調整	—	⑧-3 芯出し調整工	部材の取付	—	⑧-2 部材取付部塗膜研削工	ボルト孔明	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	ボルト締付	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	現場溶接	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	支 承 取 替	IV-3-② ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋) 表4-3-12 支承取替工歩掛	⑩-1 鋼橋・鋼製支承(ゴム支承)	既設桁の切断・孔明	桁切断・仕上	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛	既設部障害物撤去	IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛	表4-13-3 既設部材撤去歩掛	部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	鋼桁孔明	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	連結部材の取付	部材荷卸し～部材の取付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	ボルト締付	—	表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛	撤去部材の設置	—	⑦-6 主桁連結部材取付工	伸縮装置切断撤去	IV-7-⑤ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	ピンテール仕上げ	—	表4-11-1・2・3 取替工歩掛 表4-11-4 仕上工歩掛	—	現場塗装	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 補修工事高力ボルト本締工			表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																																				
足場設置・撤去	IV-3-① 3-8 足場工及び防護工	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工																																																																																																																																																																				
芯出し調整	IV-3-② 3-2 芯出し素地調整	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																				
仮支点材・補強部材の取付	設置箇所の素地調整	IV-3-② 3-2 芯出し素地調整 表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																				
	部材荷卸し～横取り～調整	—	⑧-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																																																				
	部材の取付	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																				
	ボルト孔明	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																				
	ボルト締付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛																																																																																																																																																																				
	現場溶接	—	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛																																																																																																																																																																				
支 承 取 替	IV-3-② ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋) 表4-3-12 支承取替工歩掛	⑩-1 鋼橋・鋼製支承(ゴム支承)																																																																																																																																																																				
既設桁の切断・孔明	桁切断・仕上	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛																																																																																																																																																																				
	既設部障害物撤去	IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛	表4-13-3 既設部材撤去歩掛																																																																																																																																																																				
	部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																				
	鋼桁孔明	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																				
連結部材の取付	部材荷卸し～部材の取付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛																																																																																																																																																																				
	ボルト締付	—	表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛																																																																																																																																																																				
	撤去部材の設置	—	⑦-6 主桁連結部材取付工																																																																																																																																																																				
伸縮装置切断撤去	IV-7-⑤ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																				
伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																				
舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																				
ピンテール仕上げ	—	表4-11-1・2 取替工歩掛 表4-11-3 仕上工歩掛	—																																																																																																																																																																				
現場塗装	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																				
		表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																																				
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																																				
足場設置・撤去	—	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工																																																																																																																																																																				
芯出し調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																				
仮支点材・補強部材の取付	設置箇所の素地調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛																																																																																																																																																																				
	部材荷卸し～横取り～調整	—	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																				
	部材の取付	—	⑧-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																																																				
	ボルト孔明	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																				
	ボルト締付	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																				
	現場溶接	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛																																																																																																																																																																				
支 承 取 替	IV-3-② ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋) 表4-3-12 支承取替工歩掛	⑩-1 鋼橋・鋼製支承(ゴム支承)																																																																																																																																																																				
既設桁の切断・孔明	桁切断・仕上	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛																																																																																																																																																																				
	既設部障害物撤去	IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛	表4-13-3 既設部材撤去歩掛																																																																																																																																																																				
	部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																				
	鋼桁孔明	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																				
連結部材の取付	部材荷卸し～部材の取付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛																																																																																																																																																																				
	ボルト締付	—	表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛																																																																																																																																																																				
	撤去部材の設置	—	⑦-6 主桁連結部材取付工																																																																																																																																																																				
伸縮装置切断撤去	IV-7-⑤ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																				
伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																				
舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																				
ピンテール仕上げ	—	表4-11-1・2・3 取替工歩掛 表4-11-4 仕上工歩掛	—																																																																																																																																																																				
現場塗装	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																				
		表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																																				

頁	項目	改定前	改定後																																																																
184	第2章⑤ ひび割れ補修工（低圧注入工法）	<p>184 第2章 コンクリート橋</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p>足場設置 ひび割れ部の清掃 注入孔の設置 シール材塗布及び注入器具取付 注入材の注入(追加注入含む) シール材及び注入器具の撤去 仕上げ 足場撤去</p> <p>・足場の設置は現場条件により、吊足場及び枠組足場を設置する。 ・ワイヤーブラシやディスクサンダーなどを使用してひび割れ部の清掃を行う。 ・注入器具の設置間隔決定後、マーキングを実施し、注入器具台座を取付ける。 ・ひび割れに沿ってシール材を塗布し、注入器具も同時に取付ける。 ・シール材の硬化が確認された後、注入器具を用いて注入材を注入する。 ・注入材の硬化後、シール材及び注入器具を撤去する。 ・皮スキ、ディスクサンダーなどを使用して平滑な面に仕上げる。</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 837 1205 1034"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部の清掃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入孔の設置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シール材塗布及び注入器具取付</td> <td>Ⅱ-2-④ ④-2 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))</td> <td>4.25 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))</td> <td>⑧ひび割れ補修工 (低圧注入工法)</td> </tr> <tr> <td>注入材の注入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シール材及び注入器具の撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点 本工法は、ひび割れ部に注入する材料に樹脂系、セメント系及びポリマーセメント系があり、現場条件に適した材料を選定する。シール材・注入材及び注入器具の必要量については各工法の協会、メーカーに確認されたい。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去	—	—	—	ひび割れ部の清掃	—	—	—	注入孔の設置	—	—	—	シール材塗布及び注入器具取付	Ⅱ-2-④ ④-2 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	4.25 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	⑧ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	注入材の注入	—	—	—	シール材及び注入器具の撤去	—	—	—	仕上げ	—	—	—	<p>184 第2章 コンクリート橋</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p>足場設置 ひび割れ部の清掃 注入孔の設置 シール材塗布及び注入器具取付 注入材の注入(追加注入含む) シール材及び注入器具の撤去 仕上げ 足場撤去</p> <p>・足場の設置は現場条件により、吊足場及び枠組足場を設置する。 ・ワイヤーブラシやディスクサンダーなどを使用してひび割れ部の清掃を行う。 ・注入器具の設置間隔決定後、マーキングを実施し、注入器具台座を取付ける。 ・ひび割れに沿ってシール材を塗布し、注入器具も同時に取付ける。 ・シール材の硬化が確認された後、注入器具を用いて注入材を注入する。 ・注入材の硬化後、シール材及び注入器具を撤去する。 ・皮スキ、ディスクサンダーなどを使用して平滑な面に仕上げる。</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 837 2040 1034"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部の清掃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入孔の設置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シール材塗布及び注入器具取付</td> <td>Ⅱ-2-④ ④-2 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))</td> <td>4.26 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))</td> <td>⑧ひび割れ補修工 (低圧注入工法)</td> </tr> <tr> <td>注入材の注入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シール材及び注入器具の撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点 本工法は、ひび割れ部に注入する材料に樹脂系、セメント系及びポリマーセメント系があり、現場条件に適した材料を選定する。シール材・注入材及び注入器具の必要量については各工法の協会、メーカーに確認されたい。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去	—	—	—	ひび割れ部の清掃	—	—	—	注入孔の設置	—	—	—	シール材塗布及び注入器具取付	Ⅱ-2-④ ④-2 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	4.26 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	⑧ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	注入材の注入	—	—	—	シール材及び注入器具の撤去	—	—	—	仕上げ	—	—	—
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																
足場設置・撤去	—	—	—																																																																
ひび割れ部の清掃	—	—	—																																																																
注入孔の設置	—	—	—																																																																
シール材塗布及び注入器具取付	Ⅱ-2-④ ④-2 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	4.25 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	⑧ひび割れ補修工 (低圧注入工法)																																																																
注入材の注入	—	—	—																																																																
シール材及び注入器具の撤去	—	—	—																																																																
仕上げ	—	—	—																																																																
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																
足場設置・撤去	—	—	—																																																																
ひび割れ部の清掃	—	—	—																																																																
注入孔の設置	—	—	—																																																																
シール材塗布及び注入器具取付	Ⅱ-2-④ ④-2 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	4.26 構造物補修工 (ひび割れ補修工(低圧注入工法))	⑧ひび割れ補修工 (低圧注入工法)																																																																
注入材の注入	—	—	—																																																																
シール材及び注入器具の撤去	—	—	—																																																																
仕上げ	—	—	—																																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																								
187	第2章⑥ ひび割れ補修工（充てん工法）	<p style="text-align: right;">ひび割れ補修工（充てん工法） 187</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ面のカット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部の清掃</td> <td>Ⅱ-2-⑧ ⑨-1 構造物補修工 (ひび割れ補修工 (充てん工法))</td> <td>4.24 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)</td> <td>⑧ひび割れ補修工 (充てん工法)</td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>充てん材の充てん</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※コンクリート殻の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。</p> <p>◇積算上の留意点 本工法の充てん材は、ひび割れ幅の変動により使い分ける。ひび割れ幅の変動がある場合にはウレタン樹脂やシリコン樹脂などのシーリング材、ひび割れ幅の変動が小さな場合には可とう性エポキシ樹脂、ひび割れ幅の変動が無い場合にはポリマーセメントモルタルを使用することが多い。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去				ひび割れ面のカット				ひび割れ部の清掃	Ⅱ-2-⑧ ⑨-1 構造物補修工 (ひび割れ補修工 (充てん工法))	4.24 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)	⑧ひび割れ補修工 (充てん工法)	プライマー塗布				充てん材の充てん				仕上げ				<p style="text-align: right;">ひび割れ補修工（充てん工法） 187</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ面のカット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部の清掃</td> <td>Ⅱ-2-⑧ ⑨-1 構造物補修工 (ひび割れ補修工 (充てん工法))</td> <td>4.25 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)</td> <td>⑧ひび割れ補修工 (充てん工法)</td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>充てん材の充てん</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※コンクリート殻の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。</p> <p>◇積算上の留意点 本工法の充てん材は、ひび割れ幅の変動により使い分ける。ひび割れ幅の変動がある場合にはウレタン樹脂やシリコン樹脂などのシーリング材、ひび割れ幅の変動が小さな場合には可とう性エポキシ樹脂、ひび割れ幅の変動が無い場合にはポリマーセメントモルタルを使用することが多い。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去				ひび割れ面のカット				ひび割れ部の清掃	Ⅱ-2-⑧ ⑨-1 構造物補修工 (ひび割れ補修工 (充てん工法))	4.25 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)	⑧ひび割れ補修工 (充てん工法)	プライマー塗布				充てん材の充てん				仕上げ			
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																								
足場設置・撤去																																																											
ひび割れ面のカット																																																											
ひび割れ部の清掃	Ⅱ-2-⑧ ⑨-1 構造物補修工 (ひび割れ補修工 (充てん工法))	4.24 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)	⑧ひび割れ補修工 (充てん工法)																																																								
プライマー塗布																																																											
充てん材の充てん																																																											
仕上げ																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																								
足場設置・撤去																																																											
ひび割れ面のカット																																																											
ひび割れ部の清掃	Ⅱ-2-⑧ ⑨-1 構造物補修工 (ひび割れ補修工 (充てん工法))	4.25 構造物補修工 ひび割れ補修工 (充てん工法)	⑧ひび割れ補修工 (充てん工法)																																																								
プライマー塗布																																																											
充てん材の充てん																																																											
仕上げ																																																											

頁	項目	改定前	改定後																																										
198	第2章⑧ 剥落防止工 (塗膜系)	<p>198 第2章 コンクリート橋</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 327 1205 491"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足 場 設 置 ・ 撤 去</td> <td>_____</td> <td>表4-2-14.15 損料及び歩掛係数⑥⑦</td> </tr> <tr> <td>事 前 調 査</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>断 面 修 復 ひ 割 れ 処 理</td> <td>_____</td> <td>4.23.4.4.24.4.4.25.4 単価表</td> </tr> <tr> <td>下 地 処 理</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>素 地 調 整</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>表 面 被 覆</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工歩掛は施工面積によって異なることに留意する必要がある。 ② 足場については、施工条件に留意して別途積算を行う必要がある。 ③ 材料費にはロス分を考慮する必要がある。 <p>本工法は、表面被覆の塗装材にさまざまな材料が使用されており、現場条件に適した塗装材料を選定する必要がある。工法の詳細歩掛等については、各メーカーに確認されたい。</p> <p>3 施工法</p> <p>(1) 下地処理</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>【施工上の留意点】</p> <p>ディスクサンダー等を使用して、異物を除去するとともに、型枠段差などコンクリート表面の凹凸を平滑に処理する。</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">下地処理</p> <p>(2) 素地調整</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>素地調整用のポリマーセメントモルタル等は、攪拌機で所定の配合及び時間で練り混ぜる。</p> <p>練り混ぜたポリマーセメントモルタル等はコテを使用し、所定の厚さで塗布する。</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">素地調整</p>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足 場 設 置 ・ 撤 去	_____	表4-2-14.15 損料及び歩掛係数⑥⑦	事 前 調 査	_____	_____	断 面 修 復 ひ 割 れ 処 理	_____	4.23.4.4.24.4.4.25.4 単価表	下 地 処 理	_____	_____	素 地 調 整	_____	_____	表 面 被 覆	_____	_____	<p>198 第2章 コンクリート橋</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 327 2040 491"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足 場 設 置 ・ 撤 去</td> <td>_____</td> <td>表4-2-14.15 損料及び歩掛係数⑥⑦</td> </tr> <tr> <td>事 前 調 査</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>断 面 修 復 ひ 割 れ 処 理</td> <td>_____</td> <td>4.24.4.4.25.4.4.26.4 単価表</td> </tr> <tr> <td>下 地 処 理</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>素 地 調 整</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>表 面 被 覆</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工歩掛は施工面積によって異なることに留意する必要がある。 ② 足場については、施工条件に留意して別途積算を行う必要がある。 ③ 材料費にはロス分を考慮する必要がある。 <p>本工法は、表面被覆の塗装材にさまざまな材料が使用されており、現場条件に適した塗装材料を選定する必要がある。工法の詳細歩掛等については、各メーカーに確認されたい。</p> <p>3 施工法</p> <p>(1) 下地処理</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>【施工上の留意点】</p> <p>ディスクサンダー等を使用して、異物を除去するとともに、型枠段差などコンクリート表面の凹凸を平滑に処理する。</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">下地処理</p> <p>(2) 素地調整</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>素地調整用のポリマーセメントモルタル等は、攪拌機で所定の配合及び時間で練り混ぜる。</p> <p>練り混ぜたポリマーセメントモルタル等はコテを使用し、所定の厚さで塗布する。</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">素地調整</p>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足 場 設 置 ・ 撤 去	_____	表4-2-14.15 損料及び歩掛係数⑥⑦	事 前 調 査	_____	_____	断 面 修 復 ひ 割 れ 処 理	_____	4.24.4.4.25.4.4.26.4 単価表	下 地 処 理	_____	_____	素 地 調 整	_____	_____	表 面 被 覆	_____	_____
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																											
足 場 設 置 ・ 撤 去	_____	表4-2-14.15 損料及び歩掛係数⑥⑦																																											
事 前 調 査	_____	_____																																											
断 面 修 復 ひ 割 れ 処 理	_____	4.23.4.4.24.4.4.25.4 単価表																																											
下 地 処 理	_____	_____																																											
素 地 調 整	_____	_____																																											
表 面 被 覆	_____	_____																																											
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																											
足 場 設 置 ・ 撤 去	_____	表4-2-14.15 損料及び歩掛係数⑥⑦																																											
事 前 調 査	_____	_____																																											
断 面 修 復 ひ 割 れ 処 理	_____	4.24.4.4.25.4.4.26.4 単価表																																											
下 地 処 理	_____	_____																																											
素 地 調 整	_____	_____																																											
表 面 被 覆	_____	_____																																											

頁	項目	改定前	改定後																																																
209	第2章⑩ 表面被覆工	<p style="text-align: right;">表面被覆工 209</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 施工手順及び積算情報</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下地処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td rowspan="5">IV-3-⑩ ⑩-4 橋梁補修工 (表面被覆工(塗装工法))</td> <td rowspan="5">4.26 橋梁補修工 表面被覆工 (塗装工法)</td> <td>⑩-1 表面被覆工</td> </tr> <tr> <td>下塗り(パテ塗布)</td> <td>(コンクリート保護塗装)※</td> </tr> <tr> <td>中塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※土木コスト情報 土木工事標準単価「表面被覆工(コンクリート保護塗装)」</small></p> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各材料(プライマー, パテ, 中塗り, 上塗り)のロスをそれぞれ10%程度見込む。 ② 土木コスト情報「表面被覆工(コンクリート保護塗装)」を用いる場合は, 適用条件に留意すること。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去				下地処理				プライマー塗布	IV-3-⑩ ⑩-4 橋梁補修工 (表面被覆工(塗装工法))	4.26 橋梁補修工 表面被覆工 (塗装工法)	⑩-1 表面被覆工	下塗り(パテ塗布)	(コンクリート保護塗装)※	中塗り		上塗り		上塗り		<p style="text-align: right;">表面被覆工 209</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 施工手順及び積算情報</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下地処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td rowspan="5">IV-3-⑩ ⑩-4 橋梁補修工 (表面被覆工(塗装工法))</td> <td rowspan="5">4.27 橋梁補修工(表面被覆工) (塗装工法)</td> <td>⑩-1 表面被覆工</td> </tr> <tr> <td>下塗り(パテ塗布)</td> <td>(コンクリート保護塗装)※</td> </tr> <tr> <td>中塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※土木コスト情報 土木工事標準単価「表面被覆工(コンクリート保護塗装)」</small></p> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各材料(プライマー, パテ, 中塗り, 上塗り)のロスをそれぞれ10%程度見込む。 ② 土木コスト情報「表面被覆工(コンクリート保護塗装)」を用いる場合は, 適用条件に留意すること。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去				下地処理				プライマー塗布	IV-3-⑩ ⑩-4 橋梁補修工 (表面被覆工(塗装工法))	4.27 橋梁補修工(表面被覆工) (塗装工法)	⑩-1 表面被覆工	下塗り(パテ塗布)	(コンクリート保護塗装)※	中塗り		上塗り		上塗り	
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架工事の積算	本書第7章																																																
足場設置・撤去																																																			
下地処理																																																			
プライマー塗布	IV-3-⑩ ⑩-4 橋梁補修工 (表面被覆工(塗装工法))	4.26 橋梁補修工 表面被覆工 (塗装工法)	⑩-1 表面被覆工																																																
下塗り(パテ塗布)			(コンクリート保護塗装)※																																																
中塗り																																																			
上塗り																																																			
上塗り																																																			
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架工事の積算	本書第7章																																																
足場設置・撤去																																																			
下地処理																																																			
プライマー塗布	IV-3-⑩ ⑩-4 橋梁補修工 (表面被覆工(塗装工法))	4.27 橋梁補修工(表面被覆工) (塗装工法)	⑩-1 表面被覆工																																																
下塗り(パテ塗布)			(コンクリート保護塗装)※																																																
中塗り																																																			
上塗り																																																			
上塗り																																																			

頁	項目	改定前	改定後																						
218	第2章⑫ 断面修復工 (左官工法)	<p>218 第2章 コンクリート橋</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>コンクリートはつり (カッター工含む) ・はつり範囲にカッターを入れる。 ・電動ピックなどを用いてコンクリート劣化部をはつる。</p> <p>鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 ・ワイヤーブラシ等により鉄筋表面の錆を落とす。 ・ケレンした鉄筋表面に鉄筋防錆材を塗布する。</p> <p>断面修復(左官) (プライマー含む) ・はつり部分にプライマーを塗布する。 ・ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートはつり</td> <td rowspan="4">Ⅱ-2-④ ④-3 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))</td> <td rowspan="4">4.23 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))</td> <td rowspan="4">③断面修復工 (左官工法)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋ケレン</td> </tr> <tr> <td>鉄筋防錆処理</td> </tr> <tr> <td>断面修復</td> </tr> </tbody> </table> <p>※コンクリート殻の積込み運搬及び処分費は、別途計上する。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	コンクリートはつり	Ⅱ-2-④ ④-3 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	4.23 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	③断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン	鉄筋防錆処理	断面修復	<p>218 第2章 コンクリート橋</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>コンクリートはつり (カッター工含む) ・はつり範囲にカッターを入れる。 ・電動ピックなどを用いてコンクリート劣化部をはつる。</p> <p>鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 ・ワイヤーブラシ等により鉄筋表面の錆を落とす。 ・ケレンした鉄筋表面に鉄筋防錆材を塗布する。</p> <p>断面修復(左官) (プライマー含む) ・はつり部分にプライマーを塗布する。 ・ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートはつり</td> <td rowspan="4">Ⅱ-2-④ ④-3 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))</td> <td rowspan="4">4.24 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))</td> <td rowspan="4">③断面修復工 (左官工法)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋ケレン</td> </tr> <tr> <td>鉄筋防錆処理</td> </tr> <tr> <td>断面修復</td> </tr> </tbody> </table> <p>※コンクリート殻の積込み運搬及び処分費は、別途計上する。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	コンクリートはつり	Ⅱ-2-④ ④-3 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	4.24 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	③断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン	鉄筋防錆処理	断面修復
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																						
コンクリートはつり	Ⅱ-2-④ ④-3 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	4.23 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	③断面修復工 (左官工法)																						
鉄筋ケレン																									
鉄筋防錆処理																									
断面修復																									
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																						
コンクリートはつり	Ⅱ-2-④ ④-3 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	4.24 構造物補修工 (断面修復工(左官工法))	③断面修復工 (左官工法)																						
鉄筋ケレン																									
鉄筋防錆処理																									
断面修復																									

頁	項目	改定前	改定後																																														
243	第2章⑰ グラウト再注入工	<p style="text-align: right;">グラウト再注入工 243</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 施工手順及び積算情報</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>グラウト充填調査</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入・排出孔の削孔</td> <td>Ⅱ-2-⑩ コンクリート削孔工</td> <td>—</td> <td rowspan="2">◎グラウト再注入工</td> </tr> <tr> <td>PCグラウト再注入</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>跡埋め補修</td> <td>Ⅱ-2-⑨ ④-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))</td> <td>4.23 構造物補修工 断面修復工 (左官工法)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 削孔径及び削孔箇所数は、グラウト充填不足の範囲等を考慮して計上する。 ② グラウト材と注入機材は、グラウト再注入が可能であるものを計上する。 ③ グラウト材の材料費にはロス分を考慮する必要がある。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去	—	—	—	グラウト充填調査	—	—	—	注入・排出孔の削孔	Ⅱ-2-⑩ コンクリート削孔工	—	◎グラウト再注入工	PCグラウト再注入	—	—	跡埋め補修	Ⅱ-2-⑨ ④-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))	4.23 構造物補修工 断面修復工 (左官工法)	—	<p style="text-align: right;">グラウト再注入工 243</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 施工手順及び積算情報</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>グラウト充填調査</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入・排出孔の削孔</td> <td>Ⅱ-2-⑩ コンクリート削孔工</td> <td>—</td> <td rowspan="2">◎グラウト再注入工</td> </tr> <tr> <td>PCグラウト再注入</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>跡埋め補修</td> <td>Ⅱ-2-⑨ ④-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))</td> <td>4.24 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 削孔径及び削孔箇所数は、グラウト充填不足の範囲等を考慮して計上する。 ② グラウト材と注入機材は、グラウト再注入が可能であるものを計上する。 ③ グラウト材の材料費にはロス分を考慮する必要がある。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	足場設置・撤去	—	—	—	グラウト充填調査	—	—	—	注入・排出孔の削孔	Ⅱ-2-⑩ コンクリート削孔工	—	◎グラウト再注入工	PCグラウト再注入	—	—	跡埋め補修	Ⅱ-2-⑨ ④-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))	4.24 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))	—
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																														
足場設置・撤去	—	—	—																																														
グラウト充填調査	—	—	—																																														
注入・排出孔の削孔	Ⅱ-2-⑩ コンクリート削孔工	—	◎グラウト再注入工																																														
PCグラウト再注入	—	—																																															
跡埋め補修	Ⅱ-2-⑨ ④-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))	4.23 構造物補修工 断面修復工 (左官工法)	—																																														
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																														
足場設置・撤去	—	—	—																																														
グラウト充填調査	—	—	—																																														
注入・排出孔の削孔	Ⅱ-2-⑩ コンクリート削孔工	—	◎グラウト再注入工																																														
PCグラウト再注入	—	—																																															
跡埋め補修	Ⅱ-2-⑨ ④-3 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))	4.24 構造物補修工 (断面修復工 (左官工法))	—																																														

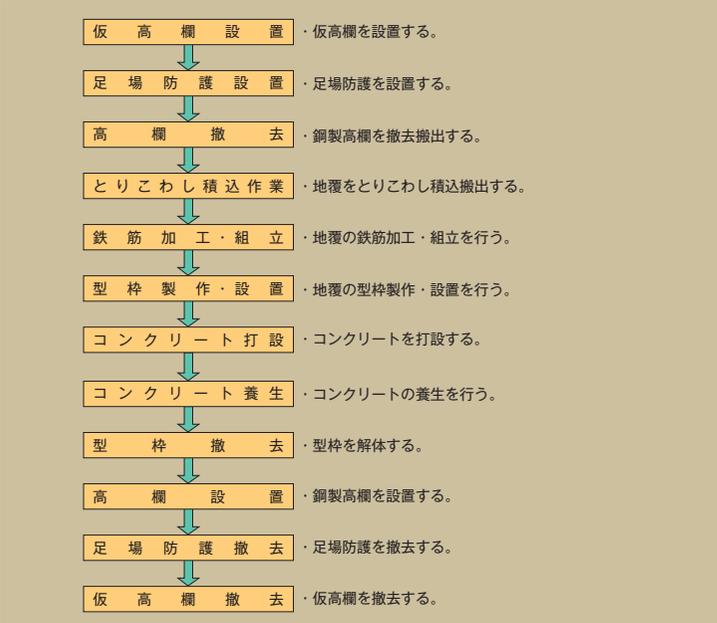
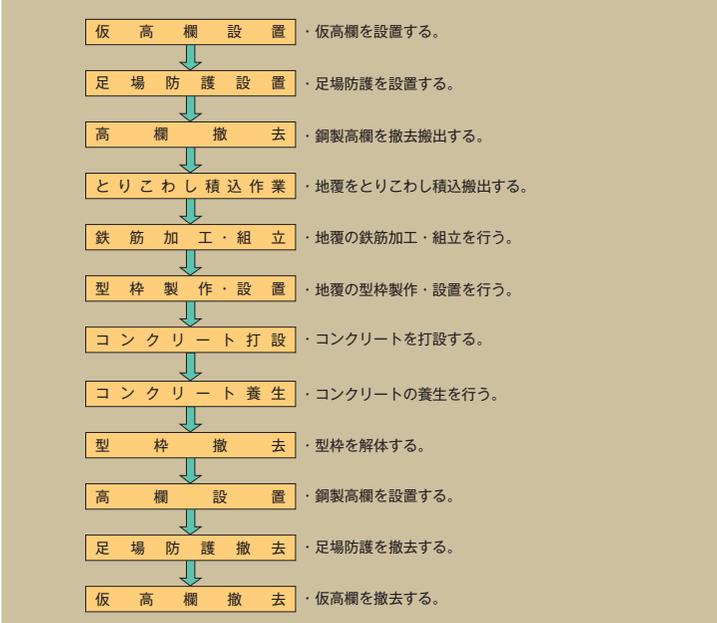
頁	項目	改定前	改定後																																																																		
247	第2章⑱ 外ケーブル方式による補強工	<p style="text-align: right;">外ケーブル方式による補強工 247</p> <p>2) 主要材料表</p> <table border="1" data-bbox="510 336 1178 466"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外ケーブル</td> <td>防錆被覆PC鋼より線 F-20TS~F200TS</td> <td>補強ケーブル</td> </tr> <tr> <td>緊結材</td> <td>普通PC鋼棒、中空PC鋼棒、アラミドロッド等</td> <td>定着及び偏向装置を主桁に緊結する</td> </tr> <tr> <td>定着及び偏向装置</td> <td>コンクリート製、鋼製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="488 547 1205 967" style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 1015 1205 1177"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>4.2.2 PC橋補修用足場工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部位置の測量</td> <td>—————</td> <td>表4-18-14 調査計測工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋及びPC鋼材の探査</td> <td>—————</td> <td>表4-7-3 鉄筋探査工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部の施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工</td> </tr> <tr> <td>外ケーブルの施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工</td> </tr> <tr> <td>防錆処理</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工に含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 上記は定着部をコンクリート製とした場合であり、鋼製ブラケットを使用する場合は別途検討が必要である。 ② 既設桁内鋼材の探査にX線を使用する場合は、積算・見積に反映する。 ③ 打継ぎ面の表面処理方法にウォータージェットまたはプラスト機を使用する場合は、積算・見積に反映する。 	名称	規格	用途	外ケーブル	防錆被覆PC鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル	緊結材	普通PC鋼棒、中空PC鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する	定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製		工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC橋補修用足場工	定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 調査計測工	鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工	定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工	外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工	防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む	<p style="text-align: right;">外ケーブル方式による補強工 247</p> <p>2) 主要材料表</p> <table border="1" data-bbox="1346 336 2016 466"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外ケーブル</td> <td>防錆被覆PC鋼より線 F-20TS~F200TS</td> <td>補強ケーブル</td> </tr> <tr> <td>緊結材</td> <td>普通PC鋼棒、中空PC鋼棒、アラミドロッド等</td> <td>定着及び偏向装置を主桁に緊結する</td> </tr> <tr> <td>定着及び偏向装置</td> <td>コンクリート製、鋼製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="1323 547 2040 967" style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 1015 2040 1177"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>4.2.2 PC橋補修用足場工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部位置の測量</td> <td>—————</td> <td>表4-18-14 近接調査計測工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋及びPC鋼材の探査</td> <td>—————</td> <td>表4-7-3 鉄筋探査工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部の施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工</td> </tr> <tr> <td>外ケーブルの施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工</td> </tr> <tr> <td>防錆処理</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工に含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 上記は定着部をコンクリート製とした場合であり、鋼製ブラケットを使用する場合は別途検討が必要である。 ② 既設桁内鋼材の探査にX線を使用する場合は、積算・見積に反映する。 ③ 打継ぎ面の表面処理方法にウォータージェットまたはプラスト機を使用する場合は、積算・見積に反映する。 	名称	規格	用途	外ケーブル	防錆被覆PC鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル	緊結材	普通PC鋼棒、中空PC鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する	定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製		工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC橋補修用足場工	定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 近接調査計測工	鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工	定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工	外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工	防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む
名称	規格	用途																																																																			
外ケーブル	防錆被覆PC鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル																																																																			
緊結材	普通PC鋼棒、中空PC鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する																																																																			
定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製																																																																				
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																			
足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC橋補修用足場工																																																																			
定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 調査計測工																																																																			
鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工																																																																			
定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工																																																																			
外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工																																																																			
防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む																																																																			
名称	規格	用途																																																																			
外ケーブル	防錆被覆PC鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル																																																																			
緊結材	普通PC鋼棒、中空PC鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する																																																																			
定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製																																																																				
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																			
足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC橋補修用足場工																																																																			
定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 近接調査計測工																																																																			
鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工																																																																			
定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工																																																																			
外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工																																																																			
防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む																																																																			

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2021年8月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																										
290	第3章⑤ 床版取替工 (プレキャストPC床版)	<p>290 第3章 橋梁床版</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表（橋軸方向がPC構造）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—————</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—————</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—————</td> <td rowspan="7">表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面シール材貼付</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>目地部モルタル充填</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>橋軸方向プレストレス導入</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>版下・シベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—————</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>PCグラウト注入</td> <td>—————</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">積算基準対応表（橋軸方向がRC構造）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—————</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—————</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—————</td> <td>表4-6-12 主桁ランジ処理工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面シール材貼付</td> <td>—————</td> <td>表2-8-26 主桁上フランジシール工歩掛</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—————</td> <td>表2-8-28 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-29 プレキャストPC床版調整工歩掛</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>間詰め部 型枠・鉄筋組立</td> <td>—————</td> <td>表2-8-30 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-32 鉄筋工歩掛 表2-8-34 小口型枠工歩掛</td> </tr> <tr> <td>版下・シベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—————</td> <td>表2-8-39 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>間詰め部・箱抜き部 コンクリート打設</td> <td>—————</td> <td>表2-8-35 コンクリート工歩掛 表2-8-38 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—————</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全面通行止めや片側車線交互通行、工事時間外交通開放など交通量や迂回路の有無など現場環境により施工方法や交通規制方法が異なるため、条件に合わせて積算・見積りを行うとともに、工事期間中の交通誘導警備員の配置等も積算・見積りに反映させる必要がある。 ② 急速施工で行う床版取替工事では、撤去した既設床版や新設するプレキャストPC床版を一時的に保管する仮置ヤードを積算・見積りに反映させる必要がある。 ③ 床版取替工のプレキャストPC床版設置歩掛は、橋軸方向PC構造の歩掛となっているため、橋軸方 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	ランジ上面シール材貼付	—————	プレキャストPC床版架設	—————	目地部モルタル充填	—————	橋軸方向プレストレス導入	—————	すれ止め取付	—————	版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————	場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	PCグラウト注入	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-12 主桁ランジ処理工歩掛	ランジ上面シール材貼付	—————	表2-8-26 主桁上フランジシール工歩掛	プレキャストPC床版架設	—————	表2-8-28 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-29 プレキャストPC床版調整工歩掛	すれ止め取付	—————	—————	間詰め部 型枠・鉄筋組立	—————	表2-8-30 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-32 鉄筋工歩掛 表2-8-34 小口型枠工歩掛	版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————	表2-8-39 無収縮モルタル工歩掛	間詰め部・箱抜き部 コンクリート打設	—————	表2-8-35 コンクリート工歩掛 表2-8-38 無収縮モルタル工歩掛	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————	場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—————	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————	<p>290 第3章 橋梁床版</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表（橋軸方向がPC構造）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—————</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—————</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—————</td> <td rowspan="7">表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面シール材貼付</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>目地部モルタル充填</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>橋軸方向プレストレス導入</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>版下・シベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—————</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>PCグラウト注入</td> <td>—————</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">積算基準対応表（橋軸方向がRC構造）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—————</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—————</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—————</td> <td>表4-6-12 主桁ランジ処理工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ランジ上面シール材貼付</td> <td>—————</td> <td>表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—————</td> <td>表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>間詰め部 型枠・鉄筋組立</td> <td>—————</td> <td>表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛</td> </tr> <tr> <td>版下・シベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—————</td> <td>表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>間詰め部・箱抜き部 コンクリート打設</td> <td>—————</td> <td>表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—————</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—————</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全面通行止めや片側車線交互通行、工事時間外交通開放など交通量や迂回路の有無など現場環境により施工方法や交通規制方法が異なるため、条件に合わせて積算・見積りを行うとともに、工事期間中の交通誘導警備員の配置等も積算・見積りに反映させる必要がある。 ② 急速施工で行う床版取替工事では、撤去した既設床版や新設するプレキャストPC床版を一時的に保管する仮置ヤードを積算・見積りに反映させる必要がある。 ③ 床版取替工のプレキャストPC床版設置歩掛は、橋軸方向PC構造の歩掛となっているため、橋軸方 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	ランジ上面シール材貼付	—————	プレキャストPC床版架設	—————	目地部モルタル充填	—————	橋軸方向プレストレス導入	—————	すれ止め取付	—————	版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————	場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	PCグラウト注入	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-12 主桁ランジ処理工歩掛	ランジ上面シール材貼付	—————	表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛	プレキャストPC床版架設	—————	表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛	すれ止め取付	—————	—————	間詰め部 型枠・鉄筋組立	—————	表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛	版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————	表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛	間詰め部・箱抜き部 コンクリート打設	—————	表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————	場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—————	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
ランジ上面シール材貼付	—————																																																																																																																																																																																												
プレキャストPC床版架設	—————																																																																																																																																																																																												
目地部モルタル充填	—————																																																																																																																																																																																												
橋軸方向プレストレス導入	—————																																																																																																																																																																																												
すれ止め取付	—————																																																																																																																																																																																												
版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————																																																																																																																																																																																												
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
PCグラウト注入	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————																																																																																																																																																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-12 主桁ランジ処理工歩掛																																																																																																																																																																																											
ランジ上面シール材貼付	—————	表2-8-26 主桁上フランジシール工歩掛																																																																																																																																																																																											
プレキャストPC床版架設	—————	表2-8-28 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-29 プレキャストPC床版調整工歩掛																																																																																																																																																																																											
すれ止め取付	—————	—————																																																																																																																																																																																											
間詰め部 型枠・鉄筋組立	—————	表2-8-30 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-32 鉄筋工歩掛 表2-8-34 小口型枠工歩掛																																																																																																																																																																																											
版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————	表2-8-39 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
間詰め部・箱抜き部 コンクリート打設	—————	表2-8-35 コンクリート工歩掛 表2-8-38 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—————																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————																																																																																																																																																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
ランジ上面シール材貼付	—————																																																																																																																																																																																												
プレキャストPC床版架設	—————																																																																																																																																																																																												
目地部モルタル充填	—————																																																																																																																																																																																												
橋軸方向プレストレス導入	—————																																																																																																																																																																																												
すれ止め取付	—————																																																																																																																																																																																												
版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————																																																																																																																																																																																												
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
PCグラウト注入	—————	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————																																																																																																																																																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—————	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—————	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—————	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ランジ上面はつり・ケレン	—————	表4-6-12 主桁ランジ処理工歩掛																																																																																																																																																																																											
ランジ上面シール材貼付	—————	表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛																																																																																																																																																																																											
プレキャストPC床版架設	—————	表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛																																																																																																																																																																																											
すれ止め取付	—————	—————																																																																																																																																																																																											
間詰め部 型枠・鉄筋組立	—————	表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛																																																																																																																																																																																											
版下・シベル用箱抜き部モルタル充填	—————	表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
間詰め部・箱抜き部 コンクリート打設	—————	表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—————																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—————	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—————																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—————																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—————																																																																																																																																																																																											

頁	項目	改定前	改定後																																										
331	第5章① 伸縮継手装置 取替工	<p style="text-align: right;">伸縮継手装置取替工 331</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> (ゴム製伸縮継手装置) (埋設型伸縮継手装置) (鋼製伸縮継手装置) </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゴム製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)</td> <td>VI-2-⑥ ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>埋設型伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)</td> <td>VI-2-⑥ ⑥-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鋼製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)</td> <td>IV-7-⑤ ⑤ 伸縮装置工(鋼製)</td> <td>表4-11-1、2 取替工步掛 表4-11-3 仕上工步掛</td> </tr> <tr> <td>廃材の積込</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃材の運搬</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃材の処理</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	ゴム製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工	—	埋設型伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	—	鋼製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	IV-7-⑤ ⑤ 伸縮装置工(鋼製)	表4-11-1、2 取替工步掛 表4-11-3 仕上工步掛	廃材の積込	—	—	廃材の運搬	—	—	廃材の処理	—	—	<p style="text-align: right;">伸縮継手装置取替工 331</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> (ゴム製伸縮継手装置) (埋設型伸縮継手装置) (鋼製伸縮継手装置) </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゴム製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)</td> <td>VI-2-⑥ ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>埋設型伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)</td> <td>VI-2-⑥ ⑥-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鋼製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)</td> <td>IV-7-⑤ ⑤ 伸縮装置工(鋼製)</td> <td>表4-11-1・2・3 取替工步掛 表4-11-4 仕上工步掛</td> </tr> <tr> <td>廃材の積込</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃材の運搬</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃材の処理</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	ゴム製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工	—	埋設型伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	—	鋼製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	IV-7-⑤ ⑤ 伸縮装置工(鋼製)	表4-11-1・2・3 取替工步掛 表4-11-4 仕上工步掛	廃材の積込	—	—	廃材の運搬	—	—	廃材の処理	—	—
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																											
ゴム製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工	—																																											
埋設型伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	—																																											
鋼製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	IV-7-⑤ ⑤ 伸縮装置工(鋼製)	表4-11-1、2 取替工步掛 表4-11-3 仕上工步掛																																											
廃材の積込	—	—																																											
廃材の運搬	—	—																																											
廃材の処理	—	—																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																											
ゴム製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工	—																																											
埋設型伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	VI-2-⑥ ⑥-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工	—																																											
鋼製伸縮継手装置 (カッター工～仕上・養生)	IV-7-⑤ ⑤ 伸縮装置工(鋼製)	表4-11-1・2・3 取替工步掛 表4-11-4 仕上工步掛																																											
廃材の積込	—	—																																											
廃材の運搬	—	—																																											
廃材の処理	—	—																																											

頁	項目	改定前	改定後																																																						
335	第5章② 橋梁地覆補修工	<p style="text-align: right;">橋梁地覆補修工 335</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 1050 1205 1279"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮高欄設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>足場防護設置・撤去</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-4 足場・防護</td> <td>表4-2-7 損料および歩掛係数②</td> </tr> <tr> <td>高欄撤去</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわし</td> <td>表4-12-1 とりこわし</td> </tr> <tr> <td>とりこわし積込作業</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわしに含む</td> <td>表4-12-1 とりこわしに含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工・組立</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-2 鉄筋</td> <td>表4-12-2, 3 鉄筋</td> </tr> <tr> <td>型枠製作・設置・撤去</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-3 コンクリート</td> <td>表4-12-4 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設・養生</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高欄設置</td> <td>IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄</td> <td>表2-8-17, 18 橋梁用高欄</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛	足場防護設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②	高欄撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし	とりこわし積込作業	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわしに含む	表4-12-1 とりこわしに含む	鉄筋加工・組立	IV-3-⑩ ⑩-1 3-2 鉄筋	表4-12-2, 3 鉄筋	型枠製作・設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート	コンクリート打設・養生	—	—	高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-17, 18 橋梁用高欄	<p style="text-align: right;">橋梁地覆補修工 335</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 1050 2040 1279"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮高欄設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>足場防護設置・撤去</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-4 足場・防護</td> <td>表4-2-7 損料および歩掛係数②</td> </tr> <tr> <td>高欄撤去</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわし</td> <td>表4-12-1 とりこわし</td> </tr> <tr> <td>とりこわし積込作業</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわしに含む</td> <td>表4-12-1 とりこわしに含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工・組立</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-2 鉄筋</td> <td>表4-12-2, 3 鉄筋</td> </tr> <tr> <td>型枠製作・設置・撤去</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 3-3 コンクリート</td> <td>表4-12-4 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設・養生</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高欄設置</td> <td>IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄</td> <td>表2-8-23, 24 橋梁用高欄</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛	足場防護設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②	高欄撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし	とりこわし積込作業	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわしに含む	表4-12-1 とりこわしに含む	鉄筋加工・組立	IV-3-⑩ ⑩-1 3-2 鉄筋	表4-12-2, 3 鉄筋	型枠製作・設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート	コンクリート打設・養生	—	—	高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-23, 24 橋梁用高欄
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																							
仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛																																																							
足場防護設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②																																																							
高欄撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし																																																							
とりこわし積込作業	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわしに含む	表4-12-1 とりこわしに含む																																																							
鉄筋加工・組立	IV-3-⑩ ⑩-1 3-2 鉄筋	表4-12-2, 3 鉄筋																																																							
型枠製作・設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート																																																							
コンクリート打設・養生	—	—																																																							
高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-17, 18 橋梁用高欄																																																							
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																							
仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛																																																							
足場防護設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②																																																							
高欄撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし																																																							
とりこわし積込作業	IV-3-⑩ ⑩-1 3-1 とりこわしに含む	表4-12-1 とりこわしに含む																																																							
鉄筋加工・組立	IV-3-⑩ ⑩-1 3-2 鉄筋	表4-12-2, 3 鉄筋																																																							
型枠製作・設置・撤去	IV-3-⑩ ⑩-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート																																																							
コンクリート打設・養生	—	—																																																							
高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-23, 24 橋梁用高欄																																																							

頁	項目	改定前	改定後																																																								
367	第7章②-4 高力ボルト取替工	<p style="text-align: right;">高力ボルト工 (リベット含む) 367</p> <h3>②-4 高力ボルト取替工</h3> <p>高力ボルト取替工は、総本数180本以上（上部工は1橋単位、下部工は1橋脚単位を標準）とする。なお、180本未満の場合は別途積算する。主桁上フランジ部の床版コンクリートの中に埋っている高力ボルトなどの特殊箇所は、別途積算とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-4 高力ボルト取替工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">$n \geq 180$のとき $Q = 180$ (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>4(6)</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-4-1 高力ボルト取替工歩掛 参照 (注) 1. n: 取替高力ボルト総本数 (本) 2. 諸雑費は、発動発電機賃料、本籍工具損料、塗装除去工具損料及び燃料・油類類・消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 編成人員での()内は、高所作業車(地盤上10m以上)の場合とする。 4. 塗装除去作業がない場合は、日当り作業量を30%増しとする。 5. 本歩掛には、トルシア型ボルトのピンテール部をグラインダーなどで平滑に仕上げる作業は含まないものとする。平滑作業を行う場合は表2-8による。 6. トラス橋・アーチ橋などは、構造及び現地条件等を考慮すべき点が多いため別途積算とする。</p> <h3>②-5 ワンサイドボルト本締工</h3> <p>ワンサイドボルト本締工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-5 ワンサイドボルト本締工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">α (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛 参照</p> <p style="text-align: center;">付表-1 日当り施工量 (α)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工量 (本)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100未満</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>100以上</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工量は、1群当りの施工数量とする。 2. 諸雑費は、発動発電機賃料・燃料・油類類、ワンサイドボルト締付工具損料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 母材の孔明けによる切削切屑 (リ屑) 等の除去を含む。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	4(6)	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	α (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	2	普通作業員	1	施工量 (本)	α	100未満	60	100以上	120	<p style="text-align: right;">高力ボルト工 (リベット含む) 367</p> <h3>②-4 高力ボルト取替工</h3> <p>高力ボルト取替工は、総本数180本以上（上部工は1橋単位、下部工は1橋脚単位を標準）とする。なお、180本未満の場合は別途積算する。主桁上フランジ部の床版コンクリートの中に埋っている高力ボルトなどの特殊箇所は、別途積算とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-4 高力ボルト取替工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">$n \geq 180$のとき $Q = 180$ (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>4(6)</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-4-1 高力ボルト取替工歩掛 参照 (注) 1. n: 取替高力ボルト総本数 (本) 2. 諸雑費は、発動発電機賃料、本籍工具損料、塗装除去工具損料及び燃料・油類類・消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 編成人員での()内は、高所作業車を用いる場合とする。使用する高所作業車は賃料を別途計上する。 4. 塗装除去作業がない場合は、日当り作業量を30%増しとする。 5. 本歩掛には、トルシア型ボルトのピンテール部をグラインダーなどで平滑に仕上げる作業は含まないものとする。平滑作業を行う場合は表2-8による。 6. トラス橋・アーチ橋などは、構造及び現地条件等を考慮すべき点が多いため別途積算とする。</p> <h3>②-5 ワンサイドボルト本締工</h3> <p>ワンサイドボルト本締工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-5 ワンサイドボルト本締工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">α (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛 参照</p> <p style="text-align: center;">付表-1 日当り施工量 (α)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工量 (本)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100未満</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>100以上</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工量は、1群当りの施工数量とする。 2. 諸雑費は、発動発電機賃料・燃料・油類類、ワンサイドボルト締付工具損料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 母材の孔明けによる切削切屑 (リ屑) 等の除去を含む。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	4(6)	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	α (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	2	普通作業員	1	施工量 (本)	α	100未満	60	100以上	120
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																								
$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1																																																									
	橋りょう特殊工	4(6)																																																									
	普通作業員	1																																																									
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																								
α (本/日)	橋りょう世話役	1																																																									
	橋りょう特殊工	2																																																									
	普通作業員	1																																																									
施工量 (本)	α																																																										
100未満	60																																																										
100以上	120																																																										
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																								
$n \geq 180$ のとき $Q = 180$ (本/日)	橋りょう世話役	1																																																									
	橋りょう特殊工	4(6)																																																									
	普通作業員	1																																																									
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																								
α (本/日)	橋りょう世話役	1																																																									
	橋りょう特殊工	2																																																									
	普通作業員	1																																																									
施工量 (本)	α																																																										
100未満	60																																																										
100以上	120																																																										

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																
441	第7章㉓-1 断面修復工 (左官工法)	<p style="text-align: right;">断面修復工 (左官工法) 441</p> <p>㉓ 断面修復工(左官工法)</p> <p>㉓-1 断面修復工 (左官工法)</p> <p>土木工事標準積算基準書 II-2-㉑ ㉑-3参照</p> <p>(1) 歩掛</p> <p>(1)-1 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む)</p> <p>コンクリートはつり (カッター工含む)、鉄筋ケレン・防錆処理、左官 (プライマー・仕上げ含む) の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表23-1 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³未満] の場合</p> <table border="1" data-bbox="631 580 1052 692"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D1) (1 構造物当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>表23-2 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³以上] の場合</p> <table border="1" data-bbox="631 740 1052 852"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D2) (0.1m³当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート段の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。</p> <p>(1)-2 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含まない)</p> <p>コンクリートはつり (カッター工含む)、左官 (プライマー・仕上げ含む) の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表23-3 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含まない) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³未満] の場合</p> <table border="1" data-bbox="631 1054 1052 1166"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D3) (1 構造物当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>表23-4 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含まない) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³以上] の場合</p> <table border="1" data-bbox="631 1214 1052 1326"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D4) (0.1m³当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート段の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。</p>	名称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)	土木一般世話役	人	2.3	特殊作業員	//	3.8	普通作業員	//	2.5	名称	単位	数量 (D2) (0.1m ³ 当り)	土木一般世話役	人	2.3	特殊作業員	//	3.8	普通作業員	//	2.5	名称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)	土木一般世話役	人	1.9	特殊作業員	//	3.2	普通作業員	//	2.1	名称	単位	数量 (D4) (0.1m ³ 当り)	土木一般世話役	人	1.9	特殊作業員	//	3.2	普通作業員	//	2.1	<p style="text-align: right;">断面修復工 (左官工法) 441</p> <p>㉓ 断面修復工(左官工法)</p> <p>㉓-1 断面修復工 (左官工法)</p> <p>土木工事標準積算基準書 II-2-㉑ ㉑-3参照</p> <p>(1) 歩掛</p> <p>(1)-1 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)</p> <p>コンクリートはつり (カッター工含む)、鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理、左官 (プライマー含む)、仕上げの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表23-1 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³未満] の場合</p> <table border="1" data-bbox="1467 580 1888 692"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D1) (1 構造物当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>表23-2 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³以上] の場合</p> <table border="1" data-bbox="1467 740 1888 852"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D2) (0.1m³当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート段の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。</p> <p>(1)-2 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)</p> <p>コンクリートはつり (カッター工含む)、左官 (プライマー含む)、仕上げの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表23-3 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³未満] の場合</p> <table border="1" data-bbox="1467 1054 1888 1166"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D3) (1 構造物当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>表23-4 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1 構造物当り修復延べ体積0.1m³以上] の場合</p> <table border="1" data-bbox="1467 1214 1888 1326"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量 (D4) (0.1m³当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>//</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>//</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート段の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。</p>	名称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)	土木一般世話役	人	2.3	特殊作業員	//	3.8	普通作業員	//	2.5	名称	単位	数量 (D2) (0.1m ³ 当り)	土木一般世話役	人	2.3	特殊作業員	//	3.8	普通作業員	//	2.5	名称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)	土木一般世話役	人	1.9	特殊作業員	//	3.2	普通作業員	//	2.1	名称	単位	数量 (D4) (0.1m ³ 当り)	土木一般世話役	人	1.9	特殊作業員	//	3.2	普通作業員	//	2.1
名称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	2.3																																																																																																	
特殊作業員	//	3.8																																																																																																	
普通作業員	//	2.5																																																																																																	
名称	単位	数量 (D2) (0.1m ³ 当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	2.3																																																																																																	
特殊作業員	//	3.8																																																																																																	
普通作業員	//	2.5																																																																																																	
名称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	1.9																																																																																																	
特殊作業員	//	3.2																																																																																																	
普通作業員	//	2.1																																																																																																	
名称	単位	数量 (D4) (0.1m ³ 当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	1.9																																																																																																	
特殊作業員	//	3.2																																																																																																	
普通作業員	//	2.1																																																																																																	
名称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	2.3																																																																																																	
特殊作業員	//	3.8																																																																																																	
普通作業員	//	2.5																																																																																																	
名称	単位	数量 (D2) (0.1m ³ 当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	2.3																																																																																																	
特殊作業員	//	3.8																																																																																																	
普通作業員	//	2.5																																																																																																	
名称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	1.9																																																																																																	
特殊作業員	//	3.2																																																																																																	
普通作業員	//	2.1																																																																																																	
名称	単位	数量 (D4) (0.1m ³ 当り)																																																																																																	
土木一般世話役	人	1.9																																																																																																	
特殊作業員	//	3.2																																																																																																	
普通作業員	//	2.1																																																																																																	

頁	項目	改定前	改定後																																																																																														
443	第7章②4-1 コンクリート 削孔工（電動 ハンマドリ ル）	<p style="text-align: right;">グラウト再注入工 443</p> <p>②4 グラウト再注入工</p> <p>②4-1 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル40mm）</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑤ 3-1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル40mm）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表24-1 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル40mm） 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" data-bbox="611 555 1070 627"> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30mm 以上200mm 未満</td> </tr> <tr> <td>200mm 以上400mm 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 電動ハンマドリル40mmによるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護欄、排水穴等）作業の他、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は、別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表24-2 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル40mm） 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="517 828 1167 1131"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機【ガソリンエンジン駆動】 2kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ40mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	30mm 以上200mm 未満	200mm 以上400mm 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機【ガソリンエンジン駆動】 2kVA	賃料	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ40mm		K3	-		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	-		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: right;">グラウト再注入工 443</p> <p>②4 グラウト再注入工</p> <p>②4-1 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル）</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑤ 3-1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表24-1 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル） 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" data-bbox="1447 555 1906 627"> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30mm 以上200mm 未満</td> </tr> <tr> <td>200mm 以上400mm 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 電動ハンマドリルによるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護欄、排水穴等）作業の他、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は、別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表24-2 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル） 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1352 828 2002 1131"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機【ガソリンエンジン駆動】 2kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ38~40mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	30mm 以上200mm 未満	200mm 以上400mm 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機【ガソリンエンジン駆動】 2kVA	賃料	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ38~40mm		K3	-		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	-		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-	
削孔深さ																																																																																																	
30mm 以上200mm 未満																																																																																																	
200mm 以上400mm 以下																																																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																																														
機械	K1	発動発電機【ガソリンエンジン駆動】 2kVA	賃料																																																																																														
	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ40mm																																																																																															
	K3	-																																																																																															
労務	R1	特殊作業員																																																																																															
	R2	普通作業員																																																																																															
	R3	土木一般世話役																																																																																															
	R4	-																																																																																															
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																															
	Z2	-																																																																																															
	Z3	-																																																																																															
	Z4	-																																																																																															
市場単価	S	-																																																																																															
削孔深さ																																																																																																	
30mm 以上200mm 未満																																																																																																	
200mm 以上400mm 以下																																																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																																														
機械	K1	発動発電機【ガソリンエンジン駆動】 2kVA	賃料																																																																																														
	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ38~40mm																																																																																															
	K3	-																																																																																															
労務	R1	特殊作業員																																																																																															
	R2	普通作業員																																																																																															
	R3	土木一般世話役																																																																																															
	R4	-																																																																																															
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																															
	Z2	-																																																																																															
	Z3	-																																																																																															
	Z4	-																																																																																															
市場単価	S	-																																																																																															